

講師紹介



弘中泰雅氏 (農学博士、水産学修士)

食品産業生産性向上フォーラム企画検討委員長
テクノバ株式会社代表取締役
日本生産管理学会 理事、日本穀物科学研究会理事

専門分野：2年で20%生産性向上を目標に全国の多様な食品工場の生産性向上に取り組む。「食品工場の生産性2倍」など食品工場の生産性向上に関する著書多数。
Mail: hironaka@technova.ne.jp HP: http://www.technova.ne.jp/



黒川龍二氏

i Smart Technologies 株式会社 執行役員 COO

旭鉄工株式会社に入社後、生産技術・工程改善活動に携わる。木村社長の指示を受け、ものづくり改革室を立ち上げ、トヨタ生産方式に基づいた改善を推進。IoT技術を活用した「製造ライン遠隔モニタリングシステム」の開発を主導、運用にも携わり大きな成果をあげる。現在、他の中小企業にも展開するため、当社の執行役員 COO として業務全般を取り仕切りつつ、旭鉄工株式会社の執行役員及びコンサル事業部長も兼務。受賞歴多数。各メディアにも多く取り上げられている。



高本治明

一般社団法人日本ロボット工業会 客員研究員

経済産業省「ロボット導入実証事業」事務局の実務責任者を3年間、「システムインテグレーション育成事業」事務局の実務責任者を1年間担当し、400件に及ぶ最新ロボット導入事例に触れる。FA・ロボットシステムインテグレータ協会事務局も担当。



青木伸輔氏

株式会社オフィスエフエイ・コム General Manager
株式会社 FA.Regalo 代表取締役

電気・機械・制御からソフトウェアまで現場の自動化に必要なあらゆる工程に精通するとともに、ほぼ全メーカーのロボットに対応可能な国内でも貴重な独立系ロボット Sier。



黒河朋文氏

株式会社フランソア 製造本部 業務革新事務局 事務局長

平成20年株式会社フランソア入社。情報部門に所属し生産管理システムの開発、導入に従事。平成30年1月より事務局を立ち上げ、会社の仕組みや製造現場の問題見える化、改善を行いながら次期生産管理システムの検討、導入に邁進中。



□ ■ □ 今後の食品産業生産性向上フォーラムの開催予定はこちらをご覧ください。

<http://robo-navi.com/foodforum/index.html>



QRコード

主催：農林水産省
後援：一般社団法人日本生産管理学会
実施：一般社団法人日本ロボット工業会 TEL：03-3434-2919 FAX：03-3578-1404
Mail：takamoto@jara.jp (担当：高本)

第9回食品産業生産性向上フォーラム

in 福岡

プログラム・プレゼンテーションガイド

開催日時：

2018年(平成30年)12月5日(水)

13:00～18:00(開場12:30)

開催場所：

福岡県中小企業振興センター(会議室301・303)

開催趣旨

昨今、食品製造業の人手不足・人材不足の問題が深刻化しており、生産性の向上が急務となっています。しかしながら、どのように生産性を向上させ、またそのための課題にどのように取り組むかを各企業が独自で見つけ出すのは非常に難しい状況です。そこで、農林水産省では、食品製造業の生産性の向上に関する専門家の講演、実際に生産性向上に取り組む現場の事例紹介、生産性向上を目指す支援業者(メーカー等)のプレゼンテーション、講演者や支援業者との交流等を内容としたフォーラムを開催致します。

プログラム

- 13:00-13:10 **開催主旨説明**
農林水産省食料産業局食品製造課
- 13:10-14:30 **基調講演**
「食品製造業の生産性低迷の原因と打開策」
弘中泰雅氏(食品産業生産性向上フォーラム企画検討委員長)
「1時間で始めるスマートファクトリー」
黒川龍二氏(i Smart Technologies 株式会社)
「食品産業における機械化・ロボット化の現状とポイント」
高本治明(一般社団法人日本ロボット工業会)
- 14:30-15:10 **生産性向上に向けた先進事例紹介**
株式会社オフィスエフエイ・コム、株式会社フランソア
- 15:10-15:20 **農林水産省よりお知らせ**
- 15:20-15:30 **経済産業省よりお知らせ**
- 15:30-18:00 **生産性向上支援事業者によるプレゼンテーション及び交流会**
(工程改善、意識改革、IT活用、機械化自動化等による食品製造業生産性向上を支援する事業者によるプレゼンテーション)
エーディーエステック、MJMG、オムロン、CKD、シナプスイノベーション、スズキ麺工、ニチワ電機、農研機構、三菱電機、妙徳
- 18:30 **閉場**

農林水産省

プレゼンテーション 企業情報

IT 利用による業務のムダ取り ～作業日報をその場で入力。集計転記を排除～

株式会社エムジェイ・エムジー コンサルティング

生産性向上を実現するためには、物づくり改善と合わせて物づくりを管理する生産管理業務の効率化が必要です。

この効率化を業務改善（必要に応じてシステム利用）指導を PDCA 管理サイクルのスピードアップを中心に活動しています。



- 住所：〒103-0027 東京都中央区日本橋3-2-14 日本橋 KN ビル4F
- 問合せ先：代表取締役 生産管理コンサルタント 清水 秀樹
- 電話番号：090-8104-0177
- E-mail：shimizu-hideki@mjpg.co.jp
- URL：http://mjpg.co.jp

IoT 対応次世代生産管理システムのご紹介

株式会社シナプスイノベーション ソフトウェア

食品製造業をはじめとして、プロセス生産に最適な生産管理システムをご紹介します。

各種製造装置・ロボット・センサー類から取得したデータを弊社 HiTHub (IoT 基盤) を介して、生産管理システムや基幹システムと連携出来ます。

HACCP CCP (重要管理点) 管理に有効です。



- 住所：〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル20F
- 問合せ先：AI&IoT 事業戦略室 市川 裕則
- 電話番号：06-6343-1212
- E-mail：contact@synapse-i.jp
- URL：https://www.synapse-i.jp/

自動化を実現する産業用ロボット 「MELFA-FR シリーズ」のご紹介

三菱電機株式会社 ロボットメーカー

三菱電機は「e-F@ctory」をコンセプトに、産業用ロボットの進化した知能化技術で、FA 機器とのシームレスな連携により、さらに簡単に、高度に、柔軟に、次世代のものづくりを実現します。

今回は、食品産業に関わる皆様方に、現場の生産性向上・効率化のお役に立てる産業用ロボット MELFA-FR シリーズをご紹介します。



- 住所：〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)
- 問合せ先：機器計画部 サーボ・ロボットシステムG 牧 恭平
- 電話番号：03-3218-6752
- E-mail：Maki.Kyohei@cb.MitsubishiElectric.co.jp
- URL：http://www.mitsubishielectric.co.jp/fa/

食品業界ロボット導入最新事例

株式会社オフィスエフエイ・コム ロボット Sier

100 名以上の技術者が在籍 + 国内 7 工場・海外 4 拠点の自社製作工場を持ち、機械設計から装置製作・電気ソフト制御・上位系ソフトウェアまでの FA-IT 一括提案が可能。

創業 20 年で国内外 2000 工場以上の自動化を実現し、現場の自動化に必要なあらゆる工程に精通するとともに、ほぼ全メーカーのロボットに対応可能な国内でも貴重な独立系ロボット Sier。



- 住所：〒329-0216 栃木県小山市榎木 293-21
- 問合せ先：General Manager 青木 伸輔
- 電話番号：080-8122-0710
- E-mail：s.aoki@office-fa.com
- URL：www.office-fa.com/

食品製造 特に麺類での生産性向上の手助けをします

株式会社スズキ麺工 製麺機械メーカー

創業 96 年、手延べ麺に端を発し、生麺・乾麺・即席麺等多様な麺、及び、製麺設備の製造を行ってきました。現在は生麺、半生麺の製造、及び、製麺機械製造部門を合せ持つ総合メーカーです。食品機械製造メーカーには、HACCP をはじめとする衛生的、人手不足に対応する効率的な機械装置が求められています。弊社でお手伝いできることがございましたらお気軽にご連絡下さい。



- 住所：〒719-0232 岡山県浅口市鴨方町本庄 509-15
- 問合せ先：営業部 矢切、横溝
- 電話番号：0865-44-2125
- E-mail：noodle@turuturu.co.jp
- URL：http://www.turuturu.co.jp

自動化省人化に向けたロボット導入での 真空吸着ハンドリング

株式会社妙徳 空気圧機器メーカー

(株)妙徳は、真空発生器、真空吸着パッドのメーカーとして、50 年以上にわたり各種産業で御使用頂いております。食品産業、食品工場向けの真空機器及び、関連するロボットに対応する真空吸着の選定が可能です。自動化及びロボット導入の際に、必ず課題となる『物を掴む』『物を搬送する』に関してベストなご提案をさせていただきます。



- 住所：〒146-0092 東京都大田区下丸子 2-6-18
- 問合せ先：営業部 営業部長 国松 孝行
- 電話番号：03-5741-7021
- E-mail：myotoku_inquiry@convum.co.jp
- URL：http://www.convum.co.jp

1 時間で始めるスマートファクトリー化

i Smart Technologies 株式会社 コンサルティング

汎用センサーを用いて、昭和の機械でも接続可能、町工場でも簡単に使える IoT システムを自社開発。生産数、停止時間、サイクルタイムを把握し、改善スピードの大幅アップを実現。

生産状況を見える化して改善につなげた当社の取り組み及びシステムについてご紹介します。



- 住所：〒447-0035 愛知県碧南市中山町 7-26
- 問合せ先：執行役員 COO 黒川 龍二
- 電話番号：0566-93-5100
- E-mail：info@istc.co.jp
- URL：http://istc.co.jp/

人手不足や技術継承等の 食品製造現場の課題解決策をご提案

オムロン株式会社 ロボットメーカー

弊社はロボットのみでなく、その前後工程も含めた自動化で食品製造業のお客様の人手不足への解決策をご提案します。例えば、食品の焼き温度調整 (温度制御) ~ 整列搬送 (コンベア制御) ~ 良否検査 (画像センサ) ~ トレー・袋詰め (ロボット) 等、従来人手に頼らざるを得なかった工程の自動化をご提案、また品質・稼働データの活用によりお客様の生産性向上に貢献します。



- 住所：〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街 1-1 7F
- 問合せ先：第 3 営業統括部 西日本営業課 (福岡) 大島 正博
- 電話番号：092-414-3212
- E-mail：masahiro_oshima@omron.co.jp
- URL：https://www.fa.omron.co.jp/

外食・中食産業の省人化と生産性向上

ニチワ電機株式会社 福岡営業所 厨房機器メーカー

業務用電気厨房機器専門メーカー。国産第一号のスチコンを開発した技術により、別々の料理を同時に仕上げる混流生産方法を開発。またモノの移動運搬を自動追従、自動走行するシステムや、光熱費削減の置換換気空調システムも製品化。農水省、厚労省高度化 HACCP 認定は 12 施設、コンサル実績があり、調理工程設計から、一級建築士事務所としてもご提案致します。



- 住所：〒813-0034 福岡市東区多の津 5-32-20
- 問合せ先：福岡営業所 若井 淳
- 電話番号：092-621-9001
- E-mail：iwai@nichiwadenki.co.jp
- URL：http://www.nichiwadenki.co.jp/

マシンビジョン分野に特化した AI (ディープラーニング) 画像解析ソフト

株式会社エーディーエス テック ソフトウェア販売

SUALAB 社が開発した最新の独自のディープラーニングアルゴリズムを採用した画像解析ソフトで、少数の OK/NG 画像にて高い品質の学習モデルを作成することが可能になり、かつ優れた GUI 操作を実現された洗練された製品です。

また工業製品の検査だけでなく幅広い画像検査が実現できます。



- 住所：〒273-0025 千葉県船橋市印内町 568-1-1
- 問合せ先：大阪営業所 加村 信夫
- 電話番号：06-6450-9070 (代表) 070-6523-6971 (携帯)
- E-mail：kamura@ads-tec.co.jp
- URL：http://www.ads-tec.co.jp

新方式助力装置パワフルアーム 空気圧で重量物の搬送をアシスト

CKD 株式会社 空圧機器メーカー

「働く人のために」をコンセプトに、職場での作業負担軽減と作業者の安全確保に貢献する「ヒューマンアシスト製品」です。下からのアクセスを可能にした新しい方式の助力装置で、多軸仕様で折りたたみ格納ができ収納時もコンパクト。用途や場所に合せて最大 3 軸まで自由な組み合わせが選べ、より高く、より遠くへの重量物搬送が可能になります。女性やシニア活躍職場の実現、多人数作業の改善、生産性向上に貢献します。



- 住所：〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東 1-10-27
- 問合せ先：CKD 福岡営業所 所長 渡邊 泰司 アステア博多ビル5階
- 電話番号：092-473-7136
- E-mail：y.watanabe@ckd.co.jp
- URL：https://www.ckd.co.jp/kiki/kiki/

農研機構の食農ノウハウを活用しませんか？

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 研究機関

農研機構は、日本の農業・食品産業の発展に向けた技術開発を担う研究機関です。遠近未来の農業・食品産業における食糧安定供給、地域農畜産物活用等に向けて、研究開発・成果普及に取り組んでいます。様々な品種の農畜産物の加工適性、多種多様な食品の特性等、食品加工操作の最適化に不可欠な基盤情報及びノウハウを蓄積していますので、是非お役立てください。



- 住所：〒305-8517 茨城県つくば市観音台 3-1-1
- 問合せ先：食農ビジネス推進センター (ABIC) 山本 和貴
- 電話番号：029-838-6993
- E-mail：kazutaka@affrc.go.jp
- URL：http://www.naro.affrc.go.jp/index.html

プレゼンテーションスケジュール

- 15:40-15:48 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
- 15:50-15:58 株式会社妙徳
- 16:00-16:08 株式会社スズキ麺工
- 16:10-16:18 株式会社エーディーエス テック
- 16:20-16:28 三菱電機株式会社
- 16:30-16:38 ニチワ電機株式会社 福岡営業所
- 16:40-16:48 CKD 株式会社
- 16:50-16:58 オムロン株式会社
- 17:00-17:08 株式会社エムジェイ・エムジー
- 17:10-17:18 株式会社シナプスイノベーション



第 3 回食品産業生産性向上フォーラムの様子